

FUREAINO MACHIZUKURI

滴 翠 会 会 報

2023
月 刊

11 月 号

第395号
平成3年1月創刊

社会福祉法人 滴 翠 会



慈翠館文化祭にて功労者表彰を受けた皆さん

文化祭

十一月三日は「文化の日」です。社会福祉法人滴翠会でも、養護老人ホーム滴翠苑は十一月九日に、救護施設慈翠館は十一月二日に文化祭が開催されました。滴翠苑は第四十八回、慈翠館は第四十五回の文化祭となります。

例年ですと、お客様を招待して盛大に開催している所ですが、感染予防の為、施設内のみの規模で開催しました。式典では、利用者様が一年間かけて作成した作品や作業などで施設に貢献して下さった方に表彰状が贈られました。日頃よりお世話になっていきますご家族様や近隣住民の皆様との交流が出来るとても貴重な機会になっていきました。今年も残念ながら叶わず利用者様が職員共に残念に思います。

来年こそは、交流が出来る事を願っております。



滴 翠 苑 文 化 祭 表 彰 者 の 皆 さ ん

●養護老人ホーム
てき すい えん
滴翠苑だより

かすみがうら市横堀四五―一五
TEL 〇二九九―五九―三六三一

第四十八回文化祭

十一月九日、第四十八回文化祭が開催されました。

ロビーには、ぬり絵や貼り絵、折り紙アートなど様々な作品が飾られました。どの作品も利用者の皆様が一生懸命に作られた素敵な作品です。

式典では滴翠苑表彰規定に基づき今年一年を通して模範となる活動や苑内の美化活動等、苑の運営に協力された方が表彰され、今年七名の方が表彰されました。また展示作品の中で特に優れた作品に特別賞が贈られました。

式典後にはお茶会が開かれ、抹茶と和菓子を召し上がり美味しかったと話されていました。

今年も滴翠苑のみの開催となりましたが、良い文化祭になったかと思えます。来年はご家族様を招待しての文化祭が開催されることを願っております。

スピーチロック研修

小林 はるみ

虐待をしないためのスピーチロック防止研修に参加し、スピーチロック「言葉による拘束」について学びました。他にもフィジカルロック「身体的拘束」ドラックロック「薬物ロック」がありますが、私が業務上で日常的に行ってしまう可能性があるとなればスピーチロックです。日々言葉遣いには気を付けていますが、忙しい時などに出てしまいがちな言葉や表現が沢山あることに改めて気付かされました。また「恐れ入りますが」などクッション言葉を使うことで印象を和らげることができると意識していきたいと思っています。

言葉遣いに関しては利用者様だけでなく、同じ職員へ対しても意識してより円滑に業務を行えるかと思っています。今後は心に余裕を持ち、業務を行うことで、スピーチロックの防止ができれば、利用者様へより良い支援を行えると思います。



運動会 風船当てゲームのようす

運動会

十月三十日に運動会を開催しました。本来は十月上旬に実施の予定でしたが、風邪等の体調不良者を考慮し延期し、今回実施の運びとなりました。

競技内容は、早く空き缶を積み上げていく「空き缶タワー」ざるに入った風船にお手玉を当てて風船を出した数で競う「風船当てゲーム」を行いました。「風船当てゲーム」は、シンプルで分かりやすいゲームで、皆さま夢中でお手玉を投げていました。お手玉の勢いもすごくてエネルギーギッシェな運動会になりました。

競技の結果によって景品のお菓子を受け取り運動会は終了となりました。延期にはなりましたが、無事行えて楽しい運動会となりました。

来年は四施設合同で盛大に行えるようお願いしております。

さつまいも掘り

十月二十二日、秋空の下、利用者様有志でさつまいもを掘りました。

春頃から余暇活動の一環として畑に様々な花や野菜を植えて育ててきましたが、いよいよ秋の収穫の時期になりました。

利用者様同士で指示を出し合いながら無事お芋を収穫できました。立派に大きく育ったお芋がたくさん実っていました。利用者の皆様も嬉しそうでした。

収穫されたさつまいもは、後日おやつ時間に提供され皆さん美味しいと大変好評でした。

また来年も大きく実りますように願っております。

＊11月の行事

文化祭	11月9日
苑内ショッピング	11月14日
お誕生会	11月28日



合 奏 ク ラ ブ の 演 奏

● 救護施設

慈翠館だより

石岡市半ノ木一四六一
TEL 〇二九九―二四―二八七一

文 化 祭

十一月二日、慈翠館にて文化祭が催されました。館内には利用者の皆さんが熱心に取り組んだ作品が展示され、式典では優秀な作品には賞状が贈られました。また、日頃から館のために当番や掃除を頑張った人、思いやりのある行動をした人等に功労賞として賞状が贈られ、施設長より感謝の気持ちが伝えられました。

式典後にはアトラクションとして合奏クラブの演奏やカラオケクラブの歌声が披露されて見ている皆さんも拍手を交えながら楽しく聴いていました。

昼食は皆さんが大好きな赤飯、焼きそば、おでん、焼き鳥、ワッフル等が模擬店にて提供され、どれもとても美味しかったと満足されていました。

皆さんの交流も深まり、楽しいひとときを過ごしている様子でした。

秋季運動会

十月十三日慈翠館では秋季運動会を開催しました。澄み渡る青空の下、利用者様達はお揃いのユニフォームに袖を通し、紅組白組に分かれました。

用意されている種目は個人と団体の競技があり、一際大きな盛り上がりを見せたのは団体競技の大玉転がしとくす玉割でした。両組「エイエイオー」の掛け声と共に、大玉を二人一組で転がします。その姿に歓声が飛び、くす玉割ではくす玉目掛けてお手玉を投げ、僅差で紅組が先にくす玉を割ると悲喜こもごもの様子。競技を全て終えた後はお楽しみの昼食です。秋を取り入れた炊き込ご飯のお弁当に利用者様達の笑顔がこぼれました。

時折姿を現した赤とんぼの群れは、賑やかなグラウンドの様子を見て何を思っていたのでしょうか。



県知事表彰を頂きました

全国救護施設研究協議会 に参加して

荷見 律子

十月十七日から十八日の二日間におたり、山梨県甲府市にて全国救護施設研究協議大会が行われました。コロナ禍明けの久し振りの大規模開催との事で四百名近くの方が参加する大会でした。今回は「地域共生社会に向け、救護施設としての機能の広がりや可能性、存在意義の高まりを再確認しよう」をテーマに全体会・分科会を行いました。分科会では、四つの分科会に分かれてのグループ討論を行い、意見を交換し合いました。全国各地の職員と熱く語り合う事ができとても良い刺激となりました。行政説明では、生活保護や救護施設の現状を知る事ができ、大変勉強になりました。記念講演では、史上四人目となる二校での甲子園大会で優

勝に導いた、現山梨学院高校野球部監督の吉田洸二氏のお話を聞く事ができ、逆境での心の在り方などを学ぶ事ができ、有意義な内容の濃い二日間でした。今回の経験を仕事に活かしていきたい、より良い支援をしていきたいと思っています。

県知事賞受賞

十月二十六日に、水戸市にあるザ・ヒロサワ・シティにて、慈翠館の飯田絵満子ケアリーダーが「茨城県知事賞」を受賞されました。長年福祉業務に携わり、福祉業務の質の向上に努めている方に授与されます。

この度は、受賞おめでとうございます。これからも、後進指導等ますますのご活躍を期待しております。

❀ 11月の行事

文化祭
誕生会

11月2日
11月28日



特別養護老人ホーム明翠苑の慰霊祭（令和5年10月20日）

●特別養護老人ホーム 明翠苑だより

石岡市半ノ木一―四八―
TEL〇二九九―三三―九六二〇

慰 霊 祭

十月二十日「慰霊祭」を行いました。
当日は、華翠会館ホールに祭壇が設けられ、お位牌が安置され供物も供えられました。

ご導師様より法話が行なわれ「明翠苑で暮らして、在籍中にお亡くなりになった方もいらつしやいます。皆様も明翠苑で過ごされてお亡くなりになられた方の霊を慰めてもらい、この先もずっと供養していきたいと思えます」といったお話がございました。

利用者様と職員で焼香をし、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りしました。

昼食は、おはぎの特別メニューでした。皆さん「美味しい」と喜ばれていました。

これからも、皆さんで先亡精霊のご冥福をお祈りして参ります。

総合防災訓練

十月十九日、明翠苑・華翠会館合同の総合防災訓練を行いました。

当日は、防災設備会社・防災担当者を中心に、通報訓練・避難訓練・消火訓練を行いました。

避難訓練は、明翠苑調理室より出火し、火災に気付いた調理員が初期消火するも火が燃え広がり、火災報知機を作動させるという設定で行いました。

毎月避難訓練を行っている成果もあり、スムーズに避難場所へ利用者様を誘導することができました。

消火訓練では、消火器と消火栓を実際に使って実践的な消火訓練を行いました。何度も繰り返して行い、使い方の手順を覚え、いざという時の為に出るよう毎回の訓練をすることが大事です。

今後も利用者の皆様が安心して生活できるよう、訓練していきます。

ふぁみりー通信

10月の出来事

10月2日「座談会」を行いました。
今月の予定を説明したり、利用者様からの要望などを伺ったりしました。その後、万寿会誕生会を行い、誕生者にプレゼントをお渡ししました。

10月5日 明翠苑・華翠会館合同の「長寿を祝う会」を開催しました。今年も、新型コロナウイルス感染予防の為、内部のみで実施しました。

10月18日 「いも煮会」を実施いたしました。昼食は、秋の味覚を味わって頂く為に、いも煮汁の特別メニューをご用意いたしました。

10月20日 「慰霊祭」が行われ、ご導師様による法話・読経のあと、利用者様・職員による焼香を行い、明翠苑先亡精霊のご冥福を皆でお祈りいたしました。

10月27日 「十三夜」で各食堂にすすきやお供え物を置き、皆さんで秋の風習を味わいました。月が綺麗でした。

明翠苑ニュース

(10月分)

面 会	0 件	延0 名来苑
外 出	0 件	外泊0 件
ショートステイ	1 名	延4 日利用

明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

座談会・誕生会

今回は、毎月月初めに行っている「座談会・誕生会」についてご紹介いたします。

明翠苑では、毎月月初めに皆様に集まってもらい、「座談会・誕生会」を行っています。（誕生会は、2ヶ月に一度行っています。）

内容は、施設長のあいさつ、月の予定や行事の説明、看護師からのお話、新入所の方の紹介などを行い、最後に皆様の要望などを伺ったりしています。その後「誕生会」を行います。要望は、その時によって変わりますが「食べたい物」「外出したい」「姉妹施設と交流がしたい」など皆様の意見を伺っています。

普段グループが違い、なかなか他利用者様のお顔や職員と会う機会が少なく、交流する機会でもあります。「久しぶり、元気だった?」「綺麗な色の服ねえ」など利用者様同士で会話されている姿も見うけられます。

「誕生会」は、皆様と一緒に祝いを行います。お一人様ずつ名前を読み上げ、施設長よりプレゼントをお渡し、記念撮影をしています。

毎回皆様すごく喜ばれ、記念の一枚なっています。

今後も、楽しく生活できますよう職員一同支援してまいります。



カラオケリズム体操のようす

●デイサービスセンター
かすいかい
華翠会館だより

石岡市半ノ木 一四八〇
TEL 〇二九九―三三―八二〇〇

利用者数 8名(男4名 女4名)
レクリエーション カラオケリズム体操

今日は、好きな曲を一人一人に歌ってもらい、棒を両手に持って、職員の動きに合わせて同じ動きをするカラオケリズム体操を行いました。歌に集中して動けなかったり、違う動きをしてしまったりと、なかなか難しかったという声が聞こえてきました。

デイサービス日誌

10月14日(土)

利用者数 7名(男2名 女5名)
クッキングクラブ 南瓜かのこ作り

今日は、南瓜かのこ作りを行いました。南瓜を小さく角切りにし水にさらしたあと、片栗粉をうすくまぶします。次に、あんこに薄力粉を適量入れ混ぜ合わせ、ラップに南瓜とあんこをのせ包んで形を整え、蒸し器で20分程蒸したら出来上がりです。皆さんからは甘くて美味しいと好評でした。

デイサービス日誌

10月26日(木)

翠すい **進**しん **会**かい

社会福祉法人滴翠会 退職職員後援会

滴翠会を退職された皆様の親睦と互助を進めます。

明翠苑居宅介護 支援センターだより

石岡市半ノ木一―四八―
TEL 〇二九九―三三―九六三四

感謝「心に寄り添うということ」

「ポテトチップスの味」

寒さ厳しい時季ですが、澄んだ空気の中昇る朝陽(あさひ)に心が凜とする季節でもあります。今回はそんな清々しさと心の温かさで繋がる石岡の人々の姿を綴ります。

その男性は心優しき真まこと(まこと)のひと。まだコンビニや大型スーパーがそれほど建っていない時代、生活に豊かさと潤いをくそんな思いから自営の商店を開業。地域の人々の暮らしを支えました。また二人三脚で歩んだ奥様が体調を崩した時には献身的に看病を行い、更には一人暮らしのお姉様の身を案じ昼夜問わず献身

的に自宅介護を行った家族愛のひと。しかし長年の疲労が蓄積し最近では体調を崩すことが多くなり、話し合いの結果、お姉様の介護を施設様に託すことになりました。心優しき性格ゆえ介護を完遂(かんすい)できなかつたと自分を責め生活意欲を失くし、傷ついた心のままに日々を送ることが多くなっていました。そんな中、この男性を支えたのは、彼が思い慕った石岡の人たちとの絆・繋がりでした。

男性の主治医の先生は市内の医療機関で診療を行っていて、高齢で外出もままならない彼の為に、院内診療の傍ら往診を行い健康面を支えてくれています。ある日、今後についてこの先生に相談したところ、地域に根ざして、人々を支え続ける訪問看護事業所様を紹介して下さいました。そして後日知ったのですが、この事業所様には過去に彼の奥様の看護を行って下さった経緯があり、ある看護師

さんが「優しいひとですよ。よく奥さんのことを看(み)ていました。」と話してくれました。そんな姿を見続けた看護師さん達との繋がりが、これもまた石岡の人々の繋がりの強固さ。

そして心の傷を癒しつつ新たな歩みを始めた中、急の嘔吐(おうと)がありこの事業所の看護師さんが駆けつけてくれることがありました。その看護師さん曰く「生まれて初めてのポテトチップスが美味しくて食べすぎたみたいです。でも良かった。ポテトチップスの美味しさが分かったんだもの。」何気ない言葉ですが、*きつと心に寄り添うということはこのような思い(看護師さんの言葉)を指すのでしょうか。*心に響くケアの根底にあるもの。それは温かな心で相手の心情を考える*ひとが持つ力(ちから)なのでしょう。温かな市民の繋がりに心より感謝。

介護支援専門員 岡野 貴

私のMENU

☆ローストビーフ

余熱でじっくり火を入れ、柔らかくジューシーなローストビーフ

●材 料 (4～5人分)

牛ももかたまり肉 400g／塩 小さじ1g
 たれ＝長ネギ(みじん切り) 1本／しそ(みじん切り) 10枚／昆布5cm角 1枚
 酒 大さじ6／醤油 大さじ3／水 大さじ3
 サラダ油 大さじ3／水あめ 大さじ1／コショウ 少々
 黄身おろし＝大根おろし 200g／卵黄 2個／すだち(1/2カット) 2個
 クレソン 適量

●作り方

- ① 牛肉は冷蔵庫から出して室温にし、1時間ほど置き塩をふって20分おく。
- ② フライパンにサラダ油を強火で熱し、①を入れ転がしながら、全面に焼き色をつける。牛肉を沸騰した湯にくぐらせ、余分な脂と塩を洗い流す。
- ③ ②のフライパンにたれの材料を入れ火にかけ、煮立ったら牛肉を入れ、蓋をし弱火にする。途中牛肉を転がして煮汁を全体にからめながら10分煮て、牛肉をバットに取り出す。
- ④ フライパンに残った煮汁を煮立て、水あめとコショウを加えて煮詰める。③の牛肉にかけてアルミ箔で全体を覆い、粗熱がとれるまでなじませる。
- ⑤ 牛肉を切り、器に盛って煮汁をかける。黄身おろしの材料を混ぜて添え、すだちとクレソンを添える。

滴翠苑 管理栄養士 高田 恵美子

今月のことば 96

手や足のよごれは常に洗えども
 心の垢^{あか}を洗う人なし

ご利用をお待ちしています

養 護 老 人 ホ ー ム	滴	翠	苑
救 護 施 設	慈	翠	館
特別養護老人ホーム	明	翠	苑
ユニット型特別養護老人ホーム	明	翠	苑
ショートステイ施設	明	翠	苑
独立型デイサービスセンター	華	翠 会	館
明翠苑居宅介護支援センター			

職 員 募 集 中 詳しくは施設へご連絡下さい

医 療 法 人 高 木 医 院
 宗 教 法 人 時 宗 華 園 寺
 社会福祉法人滴翠会退職職員後援会翠進会



社会福祉法人 滴 翠 会 <http://tekisukai.or.jp/>